

テーマ

春日は一つ三つの輪

目 標

- 園児・児童・生徒が主役として活躍するフェスタを地域と協働して取り組む。
- 各校園が地域や校園で交流する活動に取り組む。
- 各校園が積極的に地域人材を活用するボランティア事業（図書館活性活動、園芸作業、清掃活動等）に取り組む。

今年度の取組紹介

「春日ふれあい文化祭」・「せいびっ子祭」・「大安寺フェスタ」・「済南ふれあいフェスタ」などの『フェスティバル』を校区内の小中学校で開催しました。この取組は地域・学校・保護者が協働して企画運営を行っています。子どもたちが主役となっていきいき活動し、地域の方々とふれあえる良い機会であり、さらに学校園の枠組みを越えて交流出来る場ともなっています。「図書館活性活動」・「園芸活動」・「清掃活動」等については、多くの地域ボランティアの方々の協力を得て実施され、『学習環境の整備』に取り組むことが出来ました。



『春日ふれあい文化祭』

また、「地域の子どもは地域で守る」という理念のもとに始まった、『地域別懇談会』が、毎年3回開催されています。（年間3回のうち、1回目と2回目は各地域ごとに、3回目は3地域の合同で開催されています。）今年度は第99回が3地域の合同で開催され、佛教大学教育学部准教授の牧野剛史先生においでいただき、「心の表現を受け止める姿勢」というテーマでご講演いただきました。



『地域別懇談会』

今年度のまとめ

各『フェスティバル』事業では、子どもたちが主役となっていきいきと活動し、各校園間の子どもの交流に加え、地域の方々とも交流を深めることができました。また、日頃あまり学校園と関わりのない地域の方々にも多く足を運んでいただき、地域と学校園のつながりを広げることが出来ました。『地域人材を活用したボランティア』事業では学習環境を整備することに取り組み、子どもたちは自分たちの学ぶ環境が地域の方々の手で守られていることをあらためて感じ取ることが出来ました。『地域別懇談会』は、学校・地域・家庭（保護者）の連携を進めるための意見交換や情報交換そして研修の良い機会となりました。

来年度に向けて

今年度まで続けてきた事業に発展的に取り組み、来年度は新たに、『防災』に関する事業に学校と地域が協働して取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

春日ステッププラン

目標

地域の方々との関わりを通して、「役に立っている」「必要とされている」「自分にも出来る」という思いを持たせ、自尊感情を醸成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

今年度の取組紹介

主な取り組みとして、生徒たちが普段取り組んでいる部活動を生かして地域の方々と交流する「出前で部活」事業、学習意欲と基礎学力の向上を目指した放課後学習会「わかるわかる学習会」や「読書推進活動」、さらには各種の「体験学習」などがあります。

とりわけ、「出前で部活」は地域の幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の方々との交流を通して、生徒たちが様々なことを学びとり、感じ取ることで、良い経験の場となっています。さらに、地域の方々との繋がりを強める良い機会ともなっています。

「わかるわかる学習会」は、(本校の卒業生や地元の大学に通う)大学生を指導者として、週2回放課後に行う学習会です。自学自習を基本としながら、基礎学力の定着を図る「こつこつコース」と発展的学習に取り組む「どんどんコース」に分かれて学習を行っています。

また、「読書推進活動」については、図書館ボランティアの方々との協力を得て、夏休みに図書館の開館日を設け、生徒たちが「本」に親しむ機会を増やすことができました。



「出前で部活」(美術部)



「わかるわかる学習会」

今年度のまとめ

「出前で部活」事業は、自分たちの「得意なこと・好きなこと」を生かしての活動であるため、自信を持って活動することが出来、学校生活の中では見られないような活き活きした姿も見られ、生徒たちの自尊感情の醸成に役立ちました。地域の方々からも好評で、リピーターを含め派遣依頼が増加していることも生徒たちの大きな自信となりました。「わかるわかる学習会」は生徒自身の「わかるようになりたい」思いから始まり、粘り強く続けることで「わかるようになってきた・わかった」という思いを持てるようになり、さらに「もっと学びたい」という学習意欲の向上につながりました。

来年度に向けて

今年度同様「自尊感情を醸成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力向上と規範意識の育成につなげる」を目標としながら、「出前で部活」事業、「わかるわかる学習会」、「読書推進活動」、および各種の「体験活動」等の取り組みを継続していきたいと考えています。

テーマ

奈良大好きせいびっ子

目標

済美・奈良の「人・もの・こと」に関わる学習活動（世界遺産学習）を各学年で実施する。

心豊かな子どもを育てるため地域の教育力を活かすとともに、教育環境を整備する。

地域の伝統や自然を愛する心を養いそれらを守り育てていく態度を養う。

今年度の取組紹介

2年生 わくわくさんぽ せいびの町

自分が見つけた「済美の町のすてきなところ」を町探検し、見つけたことを紹介し合う中ですばらしいことがあることを知りました。

「もっとたくさん見つけよう」と、古いお寺や魚屋さんなどをおとずれ「見て・触って・やって」の体験をさせていただき、「わくわくさんぽせいびの町発表会」と題して保護者に紹介しました。そして、自分たちの住んでいる済美の町にはすばらしい場所があることや、すてきな人がいっぱいいることを知り、子どもたちはますます自分の住んでいる済美の町が好きになりました。



6年生 未来予想図 Nara Palace Site～ 過去・現在そして未来へ～

たくさんの方が魅力的であると感じている平城宮跡の未来。このことを自分のこととしてとらえ、地域に学び、地域に誇りと愛着をもつ子どもの育成を目指すことにしました。夏休みの課題として「平城宮跡の新しい魅力を見つけよう」を設定し、二学期には平城宮跡に親しむため平城宮跡サポートネットワークの方の協力で拓本や木簡を作成しました。また、平城宮跡や奈良公園等でインタビューやアンケートを行い、人々の平城宮跡への想いをタブレットを使ってまとめていきました。その中では観光客には来てもらいたい、反面静かな落ち着いた平城宮跡も望まれているなどの課題にも直面しました。どのようにしていくことが望ましいのかと話し合いながら、自分たちの未来予想図を作成しようとする姿がみられるようになりました。



今年度のまとめ

本年度も奈良や済美に誇りを感じる「奈良大好きせいびっ子」のテーマのもと、済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）に全学年でこれまでの成果を生かしながら取り組みました。地域の方々も積極的に協力をしていただき、地域と連携した教育活動を進めることができました。保護者からも、「済美や奈良の町に興味をもつようになった」という評価が昨年度より高く、子どもたちにも地域や奈良を守っていききたいという思いが育まれています。

来年度に向けて

地域には児童の興味・関心を高め、その学習活動を協働し進めていく教育力があります。地域の協力を得、その教育力を活かしながら活動をすすめてきましたが、教員との打ち合わせを計画的にもちより深めていくこと、また新たな済美・奈良の「人・もの・こと」を見いだすことにより、来年度からも児童の心を豊かにし、済美や奈良を誇ることでできる児童を育てていきたいと考えています。

テーマ

大安寺っ子、地域で学び、つながろう！！

目標

校区・地域におられる様々な方々との出会いや触れ合いを通して、人と人がつながることの大切さを学ぶとともに、地域社会から学ぶこと大切さを身に付けることを目標に事業に取り組む。

今年度の取組紹介

夏休みに4回の図書室開放や業間休みに図書室開放に協力していただいたり、児童の委員会活動にも参加し子どもと一緒に図書整理やカバーかけの作業をしていただきました。また「お話の会」の読み聞かせは全クラスで2回実施しました。

「大安寺から学ぶ」事業においては、地域の民生委員・万年青年クラブなど各種団体の協力のもと多くの人との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流を深めました。1年生では、あやとり・竹馬・おはじき・けん玉などの昔の遊び、2年生では、大安寺を見学しての世界遺産学習、3年生では、農家のくらし・昔のくらしを子どもたちが直接地域に出向きカメラやビデオで記録したりインタビューしたりするなど、直接地域から学ぶことができました。



今年度のまとめ

読書環境の整備活動など、日々の活動の積み重ねで、週1回の朝読書や「お話の会」の読み聞かせでも、集中して読んだりお話を聞いたりする児童の姿が多くみられるようになり、読書に親しむ機会が広がりました。また校庭の環境整備など着実に進んできました。

多くの「地域の人」との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流が深まり、子供たちが顔見知りになり、あいさつできる児童が増えました。また万年青年クラブの方々からは、児童と交流することで『元気になれ、楽しい』という声をいただきました。今後もこの取り組みを大切にしていきたいと思えます。

来年度に向けて

校区・地域におられる様々な方々に来校していただいて、地域の事や、伝統・文化・いろいろな職業について学び、地域社会から学ぶこと大切さを身につけ、いろいろな職業や生き方を知り、自分らしい生き方をするための能力や態度を育てたいと思えます。

テーマ

子どもでつながる「チーム済南」

目標

- ・各学年に応じた体験活動や環境整備事業、学習支援事業等での地域の方々とのふれあいを通して、大きな声で元気よく挨拶をすること、友達の意見をしっかり聞くこと、掃除を丁寧にする取り組み、自尊感情を高める。

今年度の取組紹介

今年度、「チーム済南」は、さらに大きくなりました。まず、絵手紙教室です。昨年度より多くの方にご協力いただき、学習支援ボランティアとして子どもたちに指導していただくことができました。ボランティアの方々は、子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの思いを受け止めながら筆の使い方や文字と絵とのバランスなどについて丁寧に助言していただきました。子どもたちは、優しく教えていただけることで地域の方々との会話が弾み、楽しい活動を通して地域の人々のぬくもりを感じることができました。地域の方々には、授業の様子や児童の真剣な態度にふれることで学校をより身近に感じていただくよい機会となりました。また、環境整備ボランティアが増えたことで組織がさらに強力になりました。夏の学校環境整備には、早朝からたくさんの支援者に集まっていただきました。暑い中にもかかわらず、樹木の剪定や花壇の手入れ等で、子どもたち、保護者、職員と共に汗を流し、隅々まできれいにさせていただきました。また、児童会が計画・運営する石拾い集会の日に合わせて自主的に除草作業をしていただいたり、年間を通じて花壇の手入れを積極的にしていただいたりするなど、一年中きれいな花で子どもたちを喜ばせ、学校を盛り上げていただきました。



【絵手紙教室】



【学校環境整備】

今年度のまとめ

今年度からたくさんの方が「チーム済南」に加わっていただき、さらに精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみを持って楽しく活動することができました。

子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感を持つよう取り組みを進めてきました。依然として課題は多いものの学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が部分的ではありますが、子どもたちの自信を持った行動に表れ始めています。

来年度に向けて

地域の子どもの命と安全を守る「チーム済南」の拡大を図るため、これまでの取組や成果をより積極的に地域に向けて発信できるようにホームページや学校便りを活用したいと思います。

テーマ

みんなで遊ぼう、楽しいよ！

目標

身近な環境や様々な人との交流やかかわりを通して、感動体験を味わい、元気いっぱいの心と体を育む。**今年度の取組紹介**

○ 園外保育（ならまち探検）

園の近くには世界遺産である元興寺をはじめ、数々の文化財があります。地域に親しみをもってほしいという願いから園外保育「ならまち探検」に出かけています。十念寺・元興寺・五重塔・南円堂・誕生寺庚申堂等、地域の方に安全・見守りをさせていただいたり、お話をさせていただいたりして、奈良のことを知る機会になっています。

一緒に参加された保護者からは、「親子で振り返りながら話し合う機会になりました。」「身近なところに世界遺産があることが素敵です。」等の感想をいただいています。3学期には、春日保育園の園児と一緒に出かけ、他園との交流も深まってきています。



○ 未就園児親子登園（うさぎ組）

当園が地域の子育て支援の拠点としてその役割を更に充実していくことが大切であると考え、年間計画（19回）を作成して実施をしています。在園児と一緒に遊んだり、園行事に参加したり、制作活動や楽器遊び、おはなしの会の方による読み聞かせ、子育てについての講演会等を行い、毎回、教育活動支援員やボランティアの方に活動支援をいただいていることで、未就園児やその保護者が安心して活動に参加し、在園児もかかわりを楽しんでいます。

**今年度のまとめ**

子どもたちは、身近な環境や様々な人（地域の方・保護者・未就園児とその保護者・異年齢児）との交流やかかわりを通して感動体験を味わい、豊かな心が育ってきています。園外保育では、自分たちの住んでいる町の様子やならまち、世界遺産などに興味や関心をもち毎回楽しみにしています。また、地域の方に進んであいさつをする姿を温かく受けとめてもらい、親しみを感じていただいています。未就園児親子登園では、在園児と一緒に遊ぶ中で親しみを感じたり、園環境にも少しずつ慣れてきたりして、入園を楽しみにするようになってきています。

来年度に向けて

- 当園が子育て支援の拠点となり、地域の方々や保護者、異年齢児とコミュニケーションを取り合い、楽しんで子育てができるよう支援の充実を図ります。
- 様々な人と感動体験を共有できるよう指導計画の見直しを行い、活動内容の工夫をします。

テーマ

笑顔でつなごう元気をひろげようふれあいの輪

目標

地域の方々との交流を通して地域に親しみ、かかわりを深めながら心豊かな体験をする。また、保護者も共に生き生きと心弾んで参加できるように保育内容の工夫と充実をめざす。

今年度の取組紹介

○地域の万年青年クラブの方々とのふれあい会

年3回、万年青年クラブの方々を園に招きふれあい会を実施しています。7月は、七夕の笹飾りを一緒に作り七夕祭りをしました。12月には、音楽会の歌を聞いてもらい、大きな拍手と称賛の言葉をいただきました。その後、地域の方に紙飛行機や折り紙・あやとりなどを教えてもらおうと真剣な表情で取り組み、周囲の幼児も自分から遊び方を尋ね、積極的に地域の方とかかわる姿がみられました。翌日も友達と一緒に、教えてもらったことを思い出しながら、あやとりや折り紙にじっくり取り組み、出来るまで繰り返し頑張っていました。「また来てほしいなあ」と、次回を心待ちにする姿がみられました。1月はこま回し・かるた等の昔遊びをしました。遊び方を教えてもらったり頑張りを褒めてもらったりしたこと地域の方の優しさやぬくもりを十分に感じ、一層親しみをもつことが出来ました。

**○親子でカプラで遊ぼう**

カプラワークショップのインストラクターから、カプラの遊び方を教えていただきました。どれだけ高く積み上げられるかを競争したり、かまくらや全員で一つの街をつくったりしました。親子で真剣になり、電車・ビル等をつくったり、友達がつくった線路と繋げたりして楽しく遊ぶ事ができました。親子一緒に体験したことで、自分なりに挑戦したりさらに工夫したりして親子で楽しみながら触れ合うことができました。



今年度のまとめ

様々な自然体験や地域や親子で触れ合って遊ぶ感動体験を積み重ねてきました。触れ合いを通して、子どもたちは地域の方を身近に感じ、優しさや温かさ、地域に守られているという気持ちを感ずることができ、感謝や尊敬する心も育ってきています。頑張りをほめてもらったことで自信につながり、さらに意欲をもって取り組めるようになりました。また親子での体験により、子どもの育ちを十分に感じ、子育ての楽しさや幼児教育の大切さを感じてもらうことができました。家庭・地域の助けをたくさんいただきながら、豊かな感性を育む保育の充実を図っていきたく思います。

来年度に向けて

来年度も、幼稚園が地域・家庭とつながり、地域の教育力を生かし、人との触れあいの中で感動する体験を多く取り入れ、地域に根ざした園づくりに努めていきたく思います。